

# つなぐ

地域学校協働活動 ～地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える～

現在各地域において、地域人材を活かした魅力的な活動が日々展開されています。  
今回は、世代や立場を超えた協働が、子どもたちに「つくる楽しさ」「地域を思う心」を  
育み、地域のかで学びの輪が広がっている3つの実践例をご紹介します。



## 「木育の授業 先生は関商工高等学校工業科の高校生」 ～関市立南ヶ丘小学校～



12月、南ヶ丘小学校において、「木のジャングルジム」作りに取り組みました。

教えてくれるのは、関商工高等学校建設工学科3年生9名の皆さん。彼らは、高校で学んだ知識と技術を生かし、自分たちの手で加工した木材を使い「くむんだー関商工」として、今回初めて子どもたちと一緒にジャングルジムを組み立てました。

3年生10人、4年生11人の児童たちは、トンカチとくさびを手に、高校生から教えてもらいながら、釘を一本も使わずに高く組み立てていきました。最初は恐る恐る足をかけていた子どもたちも、ジャングルジムの完成時には、「自分

たちでつくった！」という達成感で、笑顔でてっぺんへ登る姿が印象的でした。子どもたちは口々に「すごく楽しかったから、またつくってみたい」「本当に折れないか心配だったけれど、登ってみると楽しくて嬉しかった」と、「つくる楽しさ」を実感した様子でした。

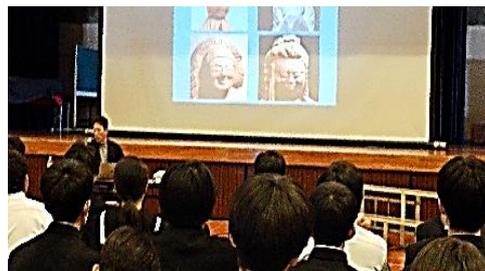
また、講師役を務めた高校生の皆さんからも「今回、直接子どもたちと一緒にジャングルジムを作れて良かった」「何より笑顔で喜んでくれたことが嬉しかった」との感想が寄せられました。



## 「自分たちの地域を自分たちの力で面白く」 ～郡上市立郡南中学校 PTA 講演会～

11月、郡南中学校において、昨年9月に休止した美並の旧子宝温泉を復活させようと立ち上った、地元在住の水口晶氏、佐藤朗氏を招いた講演会が行われました。

講演会前半では、「過疎化や人口減少をただ諦めて眺めているのではなく、自分たちの力で地域を何とかしたい」「みんな



に応援してもらって、みんなで運営していきたい。そんな大人の挑戦している姿、背中を見てもらいたい」と地域を愛し、未来をつくろうとする強い思いが語られました。

後半は立候補で募った代表生徒らとのディスカッションが行われ、「中学生でもできることがあれば取り組みたい」との発言に、水口氏からは、郡南中学校が総合的な学習の時間の出口として位置付けている「郡南マルシェ」における地元企業との商品開発を例に挙げ、「今後生徒さんからの提案をどんどん待っている。一緒につくっていききたい」と話されました。

12月6日「子宝温泉 円空の湯」として新たな一歩を踏み出したこの挑戦は、単なる温泉復活にとどまらず、“地域を思う心”が未来をつくる学びへと広がっていることを示しています。

今後の美並町における新たな地域学校協働活動の展開が楽しみです。



## 「『アクティブ G メン♪75』による授業ボランティア」 ～関市立旭ヶ丘中学校～

11月、旭ヶ丘中学校において、『アクティブ G メン♪75（関市高齢福祉課が養成している木工技術に長けているシニアボランティア）』のべ30名が授業ボランティアとして参加する「木製スプーンを作ろう」の授業が行われました。

2年生の生徒たちは、糸のこぎりを使用し各々がデザインしたスプーンの形に木を切り出す活動に取り組みました。活動中には糸のこぎりの刃が折れてしまうグループもありましたが、木育 G メンの方が生徒たちの安全に配慮しながら「うまいうまい。下書きの線より大きめに切るといいよ」「細かいデザインだね。切る順番を考えながらやろうか」など、温かな励ましと的確なアドバイスを投げかけ、生徒たちの挑戦意欲を後押しされました。こうした声かけやサポートを通じて、生徒たちは木工の技術だけでなく、地域の人と一緒に学ぶ楽しさを実感することができました。

美術科の担当教員からも「糸のこぎりを扱う授業では毎回刃が折れたり外れたりしますが、G メンに助けてもらえることでスムーズに授業を進めることができます。そして、何より、人の手や目が多いことは授業における安心感にもつながっています」と感謝されてみえました。



# 東海北陸社会教育研究大会岐阜県大会 ～第3分科会「地域文化の振興」郡上市教育委員会～

10月3日、東海北陸の社会教育関係者が一堂に会する合同会議が「学びと絆を深める社会教育～人・地域のつながりをより確かなものにする社会教育の推進～」を大会主題に掲げ、瑞穂市内で開催されました。



第3分科会「地域文化の振興」には、100名を超える参加者が集まり、郡上市教育委員会の小田松尚氏、服部敦子氏、村土尚氏の3名が「郷土文化を継承し、たくましく生きる郡上人を育む～郡上おどり、白鳥おどりを受け継ぐ子どもたち～」をテーマに実践発表をされました。

郡上市には平成21年より続いている「郡上学」があります。郡上のこれまでに学び、郡上のこれからを考えることを通して、魅力ある郡上人を育てるという施策です。今年度「シン・郡上学（深・親・進）」へとその取組みをさらに深化させています。

発表では、郡上おどり、白鳥おどりを通し、地域・社会教育・学校教育の連携や協働により次世代の担い手、創り手の育成を目指した取り組みが紹介されました。

参加者からの「子どもたちが伝統文化に積極的に取り組めるようにするためには何が最も重要であるか」との質問に対し、発表者からは「中学生は最初はやらねばならないという義務感で取り組んでいたように思うが、回を重ねるに従い達成感や充実感から自分事として捉え、積極的に取り組むようになったと感じている」と話されました。

**3-1 郡上おどり保存会ジュニアクラブ**

- ・昭和62年結成
- ・現在10名のクラブ員  
小2～高校生
- ・郡上おどり保存会による稽古（毎週土曜日）

**社会教育**

**3-5 八幡中学校の取組（郡上おどり「ゆかたDAY」）**

- ・生徒会が企画運営
- ・様々な協力 市観光課、PTA  
郡上八幡産業振興公社  
郡上おどり保存会、おはやしクラブ

**学校教育**

**3-3 お囃子講座（生涯学習）**

**地域・団体・企業**

- ・4つのコース  
唄、三味線、太鼓、笛
- R6秋の部・・・81名  
(県外8名)
- R7春の部・・・41名  
(県外1名)

**3-6 白鳥中学校の取組**

- ・生徒会「白鳥おどり応援隊」 発祥祭の協力

岐阜新聞 R.6.7.26

【郡上の発表プレゼン資料から一部抜粋】

## 取材依頼等のご連絡お待ちしております！

・地域学校協働活動に関する様々な取材を行っております。「こんな取組みがありますよ」「ぜひ学校、地域を紹介してください」など、下記担当者まで、お気軽にお問合せください。

日程等を調整後、取材をさせていただき、社会通信「つなぐ」へ掲載させていただきます。

問合せ先：中濃県事務所 振興防災課 社会教育担当(片桐紀子)

美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎4階 TEL 0575-33-4011(内線 208)